

西脇市保育士等キャリアアップ研修（幼児教育分野）

受講者感想（2023. 6. 15）

○子ども達が生活していく中でトキメキを大切にすることが学びの基礎になると知り、日々の保育の中で年長児の保育を考え直す必要があると思いました。

○様々な材料や広いスペースの準備、環境の大切さを改めて実感しました。子ども達がいきいきと自分が作りたいものを作り、満足感を味わえるような保育が行えるように、今後も頑張りたいと思います。指導の過程についての反省や評価もしっかりして、今後の保育につなげられるようにしたいと思います。

○目的をもって夢中になっている子どもの姿がとても良かったです。自分を表現する、自己発揮がみんなできていたと感じました。先生方の丁寧な対応もすごく良かったです。

○子ども達もくもくと造形活動に取り組む姿がとても印象的でした。一つの活動を通して子ども達はいろんな力が身についていると感じました。自分は普段保育をしていると、ここまで深く子どもの学びに注目できていないと思いました。今日学んだことをこれからの保育にいかしていきたいと思います。

○小学校に向けての園での活動のつながりや、どういったことが育っているのかよく分かりました。公開保育で保育を見せていただいたことでイメージしやすく、瀧川先生の話に入ることができました。

○子どもの好きなことを追及してどんどん好きになっていく（ウエルビーイング）は本当に大切なことだと感じました。自分自身で考えて、イメージを広げて自分のものにできる瞬間や意欲的になるような活動を今後も取り組めるように環境や配慮を行っていききたいと思います。

○今回の研修を通して、表現する大切さや保育者の受け止め方、様々なことが合わさって子ども達が成長していくのだと改めて感じました。粘土遊びや表現遊びなど、今後の保育に取り入れ、子どもの様子を見ながら工夫していきたいと思いました。

○子どものやってみたいという気持ちを受け止め、実現するために環境構成が大切だと思いました。今回見せてもらったことを自園でも取り入れていきたいです。また、子ども理解の4つの視点を意識しながら保育実践・振り返りをしていきたいです。

○子ども一人一人が主体となれるトキメキやヒラメキがたくさん溢れる食育活動を保育者と一緒に考えていきたいと思いました。とても勉強になりました。（管理栄養士）

○普段は調理の方に居るので、今日見たり、話を聞いた内容がすべて新鮮で、とても勉強になりました。園に持ち帰り、栄養士間でも共有できればと思います。（栄養士）

公開保育園の感想

○子ども達のトキメキを大切に、自分がハンドルを握り、主人公になること、見方、考え方等を働かせることが小学校ではとても大切になり、それを引き出し、広げていく幼児教育の在り方の大切さについて再認識することができました。園小のつながりについても具体的によく分かりました。

○子どもを主体とした幼児教育や乳児保育と、子どもの育ちについて理解しながら考えることができました。

○幼児期に夢中になること、自発的な遊びに小学校への接続に向けての大切なことがたくさん詰まっていることを知る事ができました。幼児期の土台作り、自尊感情、自己肯定感を高めることを意識し、日々かかわっていききたいです。

○午前中の保育をドキュメンテーションすることで「やってみよう」で育つところが分かりやすく、また振り返りができました。『小学校の先生に伝えるように』というのは少し難しかったが、グループごとのドキュメントを見て書き方の参考にもなりました。意欲、感性、創造、探求心、やってみようや遊びの中で育つことなのだと改めて実感しました。日々の保育が忙しい中、先生たちはドキュメント等を作り、保護者に保育を伝えている。保育の記録や振り返りにもなり、大切なことなので続けていきたいと思いました。

○主体的な活動をすることで子ども達は楽しんで取り組むことができるし、それによって育つ力は大きいことを改めて感じました。ドキュメンテーションはポイントをおさえて作り、それを使って子ども理解をしっかりと深めることの大切さも分かりました。活動の中で何が育っているのかをしっかりと計画していきたいです。

○協同性を学んでいくために、まずは個々が思いを存分に出し、受け止めてもらえる経験が土台にあることが大切だということが印象的でした。今のクラスは、自己主張や個々のカラーが強く、『みんなで』『グループで』という意識はまだ持ちづらく衝突も多い状況なので、これから様々な経験を重ねる中で、一人一人の思いや良い所をたくさん受け止められる保育者になりたいと思いました。

○改めて10の姿を意識し、保育について振り返り、次はこうしてみようとするきっかけになりました。子どもの理解をより深めていきたいと思います。

○午後からの研修で、午前中の保育の写真を見ながら説明があったので分かりやすかったです。小学校の先生に伝えるために話し合う中で、様々な意見が出てきて気づきも多く、他園の先生と交流もできて良かったです。

○幼児期の終わりまでに育てたい10の姿から今の保育の中でどのようなことが必要なのか考えながら保育をしていく必要があると思いました。保育をしていく中でトキメキ、ヒラメキ、気づき、発見をすることの重要性を感じることができました。小学校へ就学するに向けて大切なことを保育に取り入れられるようにしていきたいです。

○子どもの発見や気づき、これからのことなど、やってみようを通じて様々な気づきを得ることができました。これからも保育者として子どもの発見や感動など、同じ目線で共に喜びを共有できるよう努めていきたいです。

○今回の研修で子どもにとっての遊びや表現活動はとても意味のあることだと知ることができました。だからこそ楽しいと思える場を作ったり一緒に楽しめるような関係を子どもと作りたいたいと思いました。

○日々子どもの姿を丁寧に、肯定的なまなざしで見守ることで、個々の内面の発達が見え、それに応じた計画や環境作りができると感じました。日々の生活の中に追われるのではなくじっくりかかわることを大切にしたいと思いました。

○土台となる安定・安心できる生活ができるかわりを大事にして、トキメキやヒラメキが持続できるように子どもをよく見て気付いたり、環境や内容を提供したり準備していかなくてはと思いました。小学校へつなげられるように意識したいです。

○やってみようの活動の中でたくさんの学びと育ちがあることを知りました。また、実際にドキュメントを作るなど保育の振り返り、育ちがよくわかりました。(栄養士)